

2 0 1 9

事業報告書
社会福祉法人 清光園



CONTENTS

評議員会・理事会・内部監査報告

2019年度に実施した評議員会の状況	2
2019年度に実施した理事会の状況	2
2019年度に実施した監事監査の状況	2

事業報告

2019年度の出来事をピックアップ	3
職員構成及び職員数の推移	4
認定就労訓練支援事業	4
生活困窮者等に対する安心サポート事業	5
特養事業部	5
地域事業部	6
居宅介護支援事業所	6
委員会活動	6

決算報告

資金収支状況	8
--------	---



評議員会・理事会・内部監査報告

● 2019 年度に実施した評議員会の状況

開催日	出席者数	決議事項
5月31日	評議員 6名 理事 2名 監事 2名	平成 30 年度事業報告について 平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 理事の選任について 監事の選任について

● 2019 年度に実施した理事会の状況

開催日	出席者	決議事項
4月19日	理事 6名 監事 2名	就業規則の一部改正について
5月31日	理事 5名 監事 2名	平成 30 年度事業報告について 平成 30 年度決算報告について 定時評議員会の開催について 理事長の実務状況報告 監事監査報告
6月21日	理事 5名 監事 2名	理事長の選定について
8月30日	理事 6名 監事 2名	介護職員等特定処遇改善加算による給与規程の見直しについて 2019 年度第 1 四半期事業報告 理事長の実務状況報告 監事監査報告
11月29日	理事 6名 監事 2名	経理規程の改正について 補正予算案について 2019 年度上半期事業報告 理事長の実務状況報告 監事監査報告
2月28日	理事 6名 監事 2名	令和 2 年度事業計画案について 令和 2 年度資金収支予算案について 給与規程の改正について 就業規則の改正について 経理規程の改正について 業務災害総合保険への加入について 令和元年度社会福祉施設に係る指導監査並びに介護保険施設等の実地指導の結果について 2019 年度第 3 四半期事業報告 理事長の実務状況報告 監事監査報告

● 2019 年度に実施した監事監査の状況

監事監査を実施した監事の氏名	池本敬三	中島秀喜
監事報告により求められた改善すべき事項	なし	
監事報告により求められた改善すべき事項に対する対応	なし	



事業報告

● 2019年度の出来事をピックアップ

4月

入職式・辞令交付式

4月1日に新卒者1名（特養介護職員）の入職式を執り行いました。

5月

やねだん故郷創世塾

次世代のリーダー育成のため、2名の職員（佐藤相談主任、下村介護主任）を送り出しました。

経営会議

平成30年度事業報告について

地域交流スペース・事務室改装

職場環境や働き方を見直し、地域交流スペースと事務室を改装しました。

電動ベッドの更新

特養にて、旧型ベッド51台を電動タイプに更新しました。

6月

北海道胆振東部地震被害による修繕工事完了

サツマイモ菜園プロジェクト

やねだん館長豊重様よりサツマイモの苗を400本寄贈される。休耕地をお借りして、夕張市社協や地域の皆さんと共に、サツマイモを栽培しました。

7月

特殊建築物調査

8月

消防立入検査

指摘事項はありませんでした。

南清水沢ふれあいまつり

（福）雪の聖母園や（福）北海道博愛舎と共に、南清水沢伝統のお祭りの復活を支援しました。

経営会議

2019年度第1四半期事業報告及び介護職員等特定処遇改善加算に関する給与規程の改正について決議されました。

9月

特殊建築物調査報告

昨年、胆振東部地震でのブラックアウト等の影響により、非常照明器具の劣化が判明、すべて更新することとした。

10月

介護保険制度改正

消費税10%

11月

経営会議

2019年度上半期事業報告について

非常用照明交換工事の実施

代金回収事務委託契約の締結

事務業務のスリム化と窓口による現金収受のリスクを回避するためにシャープファイナンスと

12月

社会福祉施設指導監査及び介護保険実地指導

1月

清光園新年会

2月

経営会議

2019年度第3四半期事業報告について
令和2年度事業計画について
給与規程、就業規則等の見直しについて

社会福祉法人に係る指導監査

新型コロナウイルス感染予防のための取り組みが始まる

3月

新型コロナウイルス感染拡大防止策



●職員構成及び職員数の推移

職員数(常勤換算数)	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日
法人全体	128 (116.4)	128 (116.4)	130 (117.5)	129 (115.6)	130 (116.6)	131 (117.6)
正職員	59 (59.0)	59 (59.0)	59 (59.0)	57 (57.0)	57 (57.0)	57 (57.0)
非正規職員	69 (57.4)	69 (57.4)	71 (58.5)	72 (58.6)	73 (59.6)	74 (60.6)
本部	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
正職員	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)
非正規職員	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)
特養	93 (84.7)	93 (84.7)	95 (85.8)	94 (83.9)	94 (83.9)	96 (85.9)
正職員	48 (48.0)	48 (48.0)	48 (48.0)	46 (46.0)	46 (46.0)	47 (47.0)
非正規職員	45 (36.7)	45 (36.7)	47 (37.8)	48 (37.9)	48 (37.9)	49 (38.9)
GH	19 (17.1)	19 (17.1)	19 (17.1)	19 (17.1)	20 (18.1)	19 (17.1)
正職員	4 (4.0)	4 (4.0)	4 (4.0)	4 (4.0)	4 (4.0)	3 (3.0)
非正規職員	15 (13.1)	15 (13.1)	15 (13.1)	15 (13.1)	16 (14.1)	16 (14.1)
デイ	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	7 (5.6)
正職員	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)
非正規職員	6 (4.6)	6 (4.6)	6 (4.6)	6 (4.6)	6 (4.6)	5 (3.6)
陽光	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	3 (3.0)
正職員						
非正規職員	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	3 (3.0)
住宅	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
正職員	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
非正規職員						

●認定就労訓練事業

2019年4月4日、空知総合振興局に認定を受け事業を開始する。2019年度の利用件数は1件。50代男性で、糖尿病の管理が悪く、それを理由に長く務めることができない。妻子があり、生活保護を受給している。

訓練目標として、体調管理をしながらか週5日出勤することとした。訓練開始後、簡単な事務作業をさせるが、慣れないため時間がかかる。病院受診や体調不良を理由に休むようになる。本人と面談を繰り返し、訓練目標や訓練後の意向について確認する。比較的、一人仕事で同じことを繰り返し替えず作業が得意であったことから、カメムシ駆除の仕事に任せる。カメムシ駆除の仕事は、職員や入居者からも喜ばれた。訓練目標である週5日出勤もクリアできるようなる。3か月間の就労訓練後は、他企業での就労を希望していたが、清光園でこの



職員数(常勤換算数)	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	3月1日
法人全体	131 (117.6)	130 (117.6)	129 (117.9)	127 (115.9)	125 (114.8)	125 (115.7)
正職員	57 (57.0)	57 (57.0)	57 (57.0)	56 (56.0)	55 (55.0)	55 (55.0)
非正規職員	74 (60.6)	73 (60.6)	72 (60.9)	71 (59.9)	70 (59.8)	70 (60.7)
本部	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
正職員	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)	2 (2.0)
非正規職員	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)
特養	95 (84.9)	95 (85.2)	95 (85.6)	92 (83.5)	90 (82.4)	90 (83.3)
正職員	46 (46.0)	46 (46.0)	46 (46.0)	45 (45.0)	44 (44.0)	44 (44.0)
非正規職員	49 (38.9)	49 (39.2)	48 (39.5)	47 (38.5)	46 (38.4)	46 (39.3)
GH	19 (17.1)	18 (16.8)	18 (16.8)	18 (16.8)	18 (16.8)	18 (16.8)
正職員	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
非正規職員	16 (14.1)	15 (13.8)	15 (13.8)	15 (13.8)	15 (13.8)	15 (13.8)
デイ	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)	8 (6.6)
正職員	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
非正規職員	5 (3.6)	5 (3.6)	5 (3.6)	5 (3.6)	5 (3.6)	5 (3.6)
陽光	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
正職員						
非正規職員	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
居宅	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
正職員	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)	3 (3.0)
非正規職員						

まま働きたいと希望したため介護業務に就かせる。その後、体調を理由に頻繁に休むようになり、そのまま訓練期間を待たずに終了する。一般雇用契約した上での就労訓練事業は利点がなく、同様の相談ケースでは、トライアル雇用とした。

●生活困窮者の安心サポート事業

公的扶助などのセーフティネットだけでは対応しきれない、いわゆる制度の狭間で支援が必要な人への対応として、今年度よりこの事業を開始しています。今年度は3件の相談ケースがありました。

【事例1】60代男性で、手持ち金がなく、病院受診ができない。介護保険サービスを利用したいが、病院受診できないため、介護保険の認定も受けられないと、地域包括支援センターから相談がありました。併せて生活保護申請をしましたが、受給決定ま

までの間、この事業を利用。病院受診代等を実費支給しました。

【事例2】50代男性で、要介護者の母親と同居。母親の年金を頼りに、20年近く就労していない。母親のケアマネジャーから相談があり、この度、本人が腰痛で病院にかかり、手持ち金がなくなった。食べる物もないと相談を受ける。すぐに、本人と市内のスーパーへ行き、食材を実費支給しました。その後、担当ケアマネジャーと自立支援相談員と連携し、母親が介護サービスを利用しながら、本人が就労できるように調整しました。自立支援相談員から、建築現場での工具などの提案がありましたが、本人から清光園で働きたいと要望したため、一般トライアル雇用で採用しました。

【事例3】30代男性。持病により退職。自立支援相談員の紹介により清光園で採用。自立支援相談員から所持金

がなく、職場までのバス代がないと相談を受けました。給料が支給されるまでの1ヶ月間、バスの定期券のほか、就労する上で必要な上靴や作業用の衣類を実費支給しました。

事業給付額合計 61,487 円

●特養事業部

●特養稼働率 98.8% 平均要介護度 4.02 ●短期稼働率 85.6% 平均要介護度 3.12 ●特養、短期合算で、稼働率 98.5% ●空室期間平均 6.9 日間 ●サービス担当者会議への本人・家族の参加率 75.3% ●要介護認定調査委託研修 28 件 ●福祉優勝運送事業 46 件事業収入 203,450 円 ●ユニットリーダー実習生 18 名受入 ●武田和典先生による内部研修会 5 回実施 ●大堀具視先生の「動き出しは当事者から」研修会 2 回実施 ●空老協・個別ケア部会当番施設となる ●ユニットリーダー研修 3 名修了 ●認知症介護実践者研



修1名修了●認知症介護リーダー研修2名修了●衛生委員会 安全衛生パトロールの実施 腰痛予防講習会の実施 メンタルヘルス研修会の実施 職員検診・ストレスチェックの企画●入所判定委員会 第三者委員を招いて4回開催 28名から37名の待機者の順位を決定した。

●地域事業部

●GH平均稼働率99.4%●平均要介護度2.4●GH待機者16名●運営推進会議6回開催うち1回は新型コロナウイルス感染拡大防止のための書類審議とした。

●デイ平均稼働人数17.2名●5月より口腔機能向上加算、個別機能訓練加算Ⅰを算定した。

●陽光稼働率99.8%●入居者18名のうち10名が要介護者、3名が要支援認定を受けている。●生活保護受給者3名、生活保護ぎりぎりの入居者も多く、昼食を食べることができない方がいる。●閉じこもりや転倒予防に地域リハビリテーション活動を年3回開催、GHと合同で、外出や交流の機会を増やしている。

●オレンジカフェ（オレンジの会）やw笑wカフェ（地域カフェ）活動を行っている。MCI（軽度認知障害）の発見や、認知症の方を抱える家族同士の交流の場となっている。

●居宅介護支援事業所

●平均利用者数（要介護）85.6人（介護予防）38.9人

●委員会活動

●地域活性化委員会では、清峰町内会と情報交換を行い、清光園の敷地内でラジオ体操を実施した。

●防災委員会では、日中火災想定避難訓練、夜間火災想定避難訓練、エレベーター閉じ込め時の脱出訓練を実施した。3月実施予定であった自然災害想定訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期した。

●研修委員会では、内部研修の企画及び外部研修参加者の選定を行った。●5月～新人職員マナー研修、新人介護職員研修、ユニットリーダー研修、介護現場における適切なケア研修●6月～北海道抑制廃止研究会、

介護職員専門研修●7月～OJT担当指導者セミナー、マインドマップセミナー、老人福祉施設研究大会●8月～介護系リーダー研修初級編、現場で役立つ医療と知識向上研修●9月～北海道高齢者虐待防止推進研究会、認知症ケアスキルアップ研修、ユニットリーダー研修、コミュニティソーシャルワーカー研修、PEAP認知症の人のための生活環境づくり研修●10月～リスクマネジメント研修、認知症ケアスキルアップ研修、多職種連携人材育成研修●11月～認知症実践リーダー研修報告会●12月～個別ケア部会●1月～ユニットリーダー研修●2月～先端ケア研修、以上外部研修参加者35名

●事故苦情を真剣に考え取り組む会では、事故発生直後の多職種共同でのカンファレンスを導入した。

●身体拘束の弊害について考える会では、神戸市高齢者虐待防止介護従事者研修用の動画を鑑賞して、不適切ケアについてディスカッションしました。

●感染に敏感となり予防する会では、感染症及び感染予防、ノロウイルス対策についてDVD鑑賞したうえで、演習を行った。

●褥瘡予防に全力で取り組む会では、褥瘡予防ケア計画チェックシートにより、褥瘡高リスク者の把握をし、耐圧分散気を用いた実践研修を開催した。

●人権と介護について考える会では、DVD教材を活用して、不適切な対応や声掛けについて考えてもらいました。

●人間理解と受容・認知症ケアの会では、毎月認知症勉強会を開き、認知症について考える機会を与えた。

●最期の一瞬まで全力で介護する会では、看取りを行った10名の方のデスクカンファレンスを行い、事例を交えての内部研修を開催した。

●口腔ケアの大切さを考える会では、口腔嚥下評価表の作成に取り組んでいる。

●面白いことを企画する会では、施設業の企画や地域行事への参加を計画した。

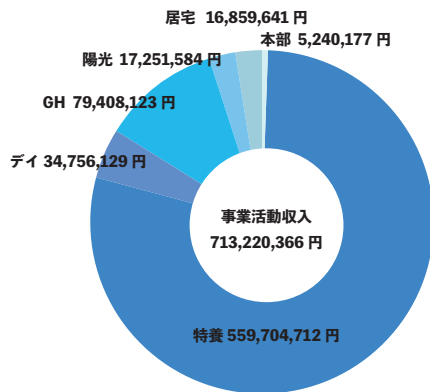
●食の喜びについて考える会では、厨房委託業者の人手不足のなかで、食卓便やユニット調理で工夫を凝らした。





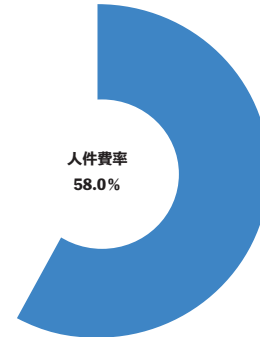
事業活動収入 713,220,366円

安定した稼働率と10月に行われた介護報酬改定によって収入がアップしました。



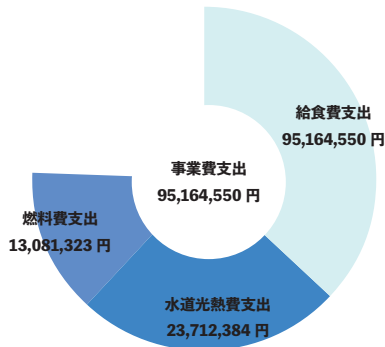
人件費支出 413,862,778円

4月は非正規職員の賃金規程を2%以上増額しました。10月からは給与規程を改正し、役職手当と資格手当を増額しました。



事業費支出 95,164,550円

事業費のうち、給食費支出と水道光熱費支出、燃料費支出で75%を占めます。



電気使用量の推移

ピックアップ

特養の電気使用量です。省電力化を図り、2018年度よりLED照明にしています。

	年間使用量	年間使用料金
2015年度	384,686kWh	7,937,088円
2016年度	389,600kWh	7,749,096円
2017年度	417,165kWh	8,794,076円
2018年度	360,108kWh	8,502,430円
2019年度	356,552kWh	8,215,754円

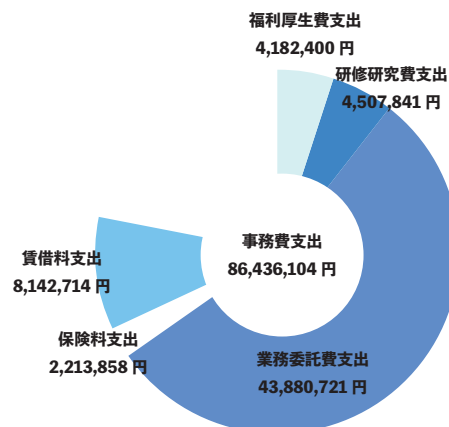
A重油料金の推移

ピックアップ

A重油の価格は変動が激しく、2020年3月31日には、37.2円まで暴落しました。

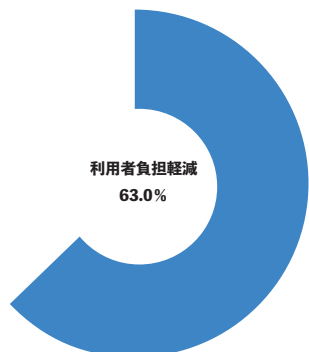
	平均単価	入荷量	料金
2015年度	60.03円	154kl	9,244,000円
2016年度	53.25円	188kl	10,010,640円
2017年度	63.87円	192kl	12,262,274円
2018年度	70.45円	166kl	11,694,880円
2019年度	67.95円	176kl	11,960,040円

事務費支出 86,436,104円



利用者負担軽減額 11,481,946円

入居者の63%が適用



修繕積立資産支出 12,200,051円

将来の大規模修繕へ向けて積み立てます。

施設整備等補助金収入 10,404,000円

北海道胆振東部地震の災害復旧国庫補助金

当期資金収支差額 43,469,709円



